

「BEMS普及コンソーシアム京都」平成27年度 総会 議事要旨

日時：平成27年8月25日（火）13:30～14:35

会場：職員会館かもがわ 2階 第1会議室

1 挨拶（京都市地球環境・エネルギー政策監）

- 京都市域のエネルギーの総消費量は1990年度以降増加傾向であったが、1997年度をピークに減少傾向が続いており、2013年度はその中で一番低い値となり、1990年度比でマイナス18.7%、2010年度比でマイナス9.5%と総消費量では減少している。
- こうした中、BEMSを普及させることによって、エネルギーの消費量が増加傾向にある民生・業務部門に対し、省エネ対策を重点的に進めていくためには、昨年度設立したBEMS普及コンソーシアム京都が果たす役割は極めて重要だと考える。
- 今後、事業者の皆様が行動を起こされ、BEMSを通じてエネルギーの見える化を図っていただき、建物の省エネ・節電の取組を更に進めていただけるよう、コンソーシアムでは導入のニーズや課題を積極的に把握するとともに有益な情報を収集して切れ目なく提供したいと考えている。
- BEMS普及コンソーシアム京都の活動が契機となり省エネ・節電の理解が一層進み、BEMS事業者と民生各分野の事業者のマッチングが整い、更なるBEMS導入につながることを期待している。

2 会長の選出及び副会長の指名

- 会長として近本委員が選出され、副会長として鈴木委員が指名された。

<近本会長挨拶>

- 電力料金が2度にわたって引き上げられ、電力自由化も小口に至るまで自由化するという段階にある。更に1年後にはガスの自由化を迎えるなか、エネルギーの使い方や契約そのものを誤ってしまうと結果コスト増になる恐れがある。
- 事業者の皆様にとって、BEMS導入はまだハードルが高いものであるが、契約電力を抑えようとするデマンドコントロールに関しては、少なからず検討し、導入を図りつつあると思う。これからは、エネルギーをどうコントロールしていくか、契約をどうするかを考えないといけない時代になってきている。

○本コンソーシアムでは、参加いただいている事業者の皆様が賢くエネルギーを使い、そして、いかにして安く賄っていただけるのかを意見交換し、情報提供していきたい。

3 議案

○平成 26 年度「BEMS 普及コンソーシアム京都」の取組について、資料 1 に基づき報告した。

○平成 27 年度「BEMS 普及コンソーシアム京都」の取組（案）について、資料 2 に基づき説明し、委員及び会員の下承を得た。